

郷土博物館特別展「大勾玉展」の実施結果について

郷土博物館で実施した宝萊山古墳東京都史跡指定 70 周年特別展「大勾玉展」について結果報告する。

1 実施結果

- (1) 実施期間 令和4年8月2日から令和4年10月16日（68日間）まで
- (2) 入館者数 延べ8,192人
 （一般：5,190人、子ども：462人、65歳以上：2,179人、
 未就学：115人、招待者：246人）

2 実施結果について

今年度は宝萊山古墳が都の指定を受けてから70周年、区立古墳展示室が開館30周年にあたるため、区内の文化遺跡を知る契機として特別展「大勾玉展」を実施した。宝萊山古墳から出土した区所蔵の「ヒスイ製勾玉」をはじめ、そのルーツをたどる勾玉を全国から1,500点集めた展示内容とした。

勾玉のみをこれほど多く集中的に展示する特別展は他に類がなく、区内はもとより全国から多くの方が来館し、SNSなどでも取り上げられるなど反響が大きかった。

会期は夏休みをスタートとし、親子連れの来館を促し、勾玉や区内の文化遺跡を再認識できるように企画した。

考古ファンは全国規模で存在し、今回の特別展では多くの方に勾玉をきっかけとして大田区を広く周知することができた。

